証券コード6471

MOTION & CONTROL™
NSK

（株主通信）

第151期中間報告書

平成23年（2011年）４月１日から
平成23年（2011年）９月30日まで

日本精工株式会社

企業理念

NSKは、MOTION & CONTROLを通じ、円滑で安全な社会に貢献し、地球環境の保全をめざすとともに、グローバルな活動によって、国を越えた人と人の結びつきを強めます。

経営姿勢

1. 世界をリードする技術力によって、顧客に積極的提案を行う。
2. 社員一人ひとりの個性と可能性を尊重する。
3. 柔軟で活力のある企業風土で時代を先取りする。
4. 社員は地域に対する使命感をもとに行動する。
5. グローバル経営をめざす。

（NSK企業理念体系より）

目次 Contents

- 企業理念・経営姿勢 連結決算ハイライト……1
- 株主の皆様へ……2-4
- 事業セグメント情報……5
- 連結財務諸表（要旨）……6
- NSK ZOOM UP……7-8
- NSK NEWS……9
- 会社概要・株式の状況……10

連結決算ハイライト

Financial Highlights

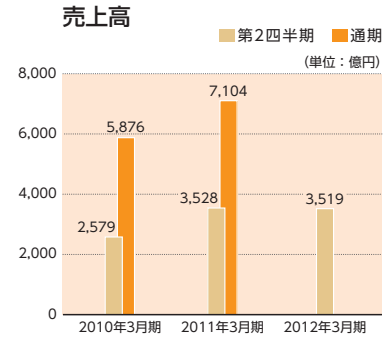
連　結

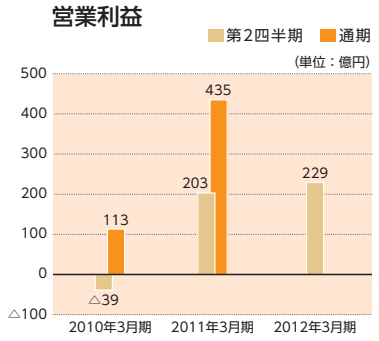
売上高
3,519億円
（前年同期比△0.3%）

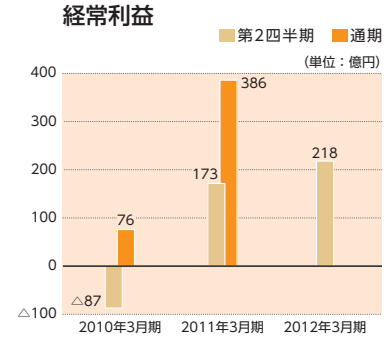
営業利益
229億円
（前年同期比＋13.0%）

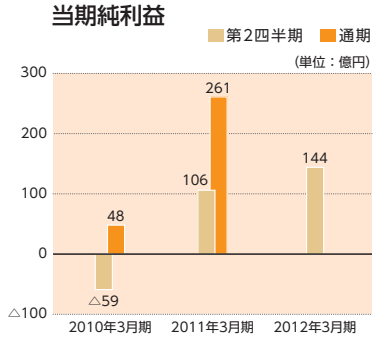
経常利益
218億円
（前年同期比＋25.9%）

当期純利益
144億円
（前年同期比＋36.2%）









President's Message

代表執行役社長　大塚　紀男

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。また、このたびの東日本大震災により被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。被災地の皆様の一日も早い復興をNSKグループ一同、心よりお祈り申し上げます。

さて、当社第151期中間報告書（2011年4月1日から2011年9月30日まで）をお届けいたしますので、ご高覧のほどお願い申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

●連結決算の概況について

当社第151期第2四半期（2011年4月1日から2011年9月30日まで）の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期の世界経済は、東日本大震災の各地域への波及が懸念されましたが、その影響は限定的なものにとどまり、中国やアセアンを中心とする新興国の経済成長に牽引されて全体的に景気の回復基調がみられました。しかしながら、為替相場の急激な変動や新興国経済の成長ペースの鈍化、米国の景気減速や欧州の金融不安が懸念されるなど、先行きについては不透明な状況が続いております。

当社グループの事業領域におきましては、自動車向けは震災の影響もあり、前年同期に比べて需要が減少しました。地域別にみると、日本では震災による顧客の一時的に大幅な生産調整があったものの、その後の復旧が急ピッチで進み、生産の回復基調が鮮明となりました。米州では日系自動車メーカーの販売の減少、欧州では主要国の自動車市場の停滞がみられる一方で、アジアでは中国、インドの自動車市場の拡大がみられました。また、産業機械向けは新興国の経済成長や各国の景気回復などにより、産業機械軸受及び精密機器関連製品ともに需要増となりました。地域別にみると、日本では国内需要及び中国向けを中心とした輸出需要の増加により、工作機械向けが増加しました。米州及び欧州では緩やかな景気回復に伴うアフターマーケット向けの増加、中国では工作機械やインフラ関連向けが増加となり、全体的に需要

President's Message

が堅調に推移しました。

当社グループは、コストダウンに取り組むと同時に当社製品の安定供給、品質確保に万全を期して震災による影響を最小限にとどめるよう努めました。その結果、売上高は3,518億77百万円と前年同期に比べて0.3%の減収となりましたが、営業利益は229億35百万円と前年同期に比べて13.0%の増益になりました。経常利益は218億39百万円と前年同期に比べて25.9%の増益となり、税金費用、少数株主利益を控除した結果、四半期純利益は143億88百万円と前年同期に比べて36.2%の増益となりました。

●セグメントごとの業績

①産業機械事業

産業機械軸受の売上高は、各国での景気回復に伴う需要増により、工作機械やアフターマーケット向けが増加しました。精密機器関連製品の売上高は、各地域において需要が堅調に推移し、日本、欧州、中国を中心に工作機械向けが増加しました。

この結果、産業機械事業の売上高は1,331億12百万円（前年同期比+4.4%）となりました。営業利益は、円高による輸出採算の悪化はあるものの、物量の増加やコストダウン等により150億45百万円（前年同期比+82.7%）となりました。

②自動車事業

自動車軸受及び自動車部品の売上高は、中国やインドを中心とした新興国での自動車市場拡大による需要の増加はあったものの、震災の影響を受けて日本での自動車生産台数が減少したことから、前年同期に比べて減少しました。

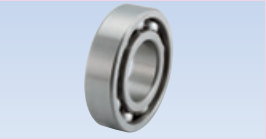
この結果、自動車事業の売上高は2,001億6百万円（前年同期比△5.7%）となりました。営業利益は、物量の

NSKグループのセグメント

産業機械事業

総合軸受メーカーとしてフルラインアップを誇る「産業機械軸受」、ボールねじ、リニアガイド、メカトロ製品などからなる「精機製品」、これら2つの分野で展開する製品は、家電やパソコン、あらゆる産業機械をはじめ、今後成長が期待される先端医療分野やクリーンエネルギー分野にも広く使用されています。

鉄鋼設備用軸受


深溝玉軸受

ボールねじ

NSKリニアガイド™

減少や円高の影響により91億87百万円（前年同期比△32.4%）となりました。

●利益配分に関する基本方針及び当期の配当について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営方針の一つとしております。配当につきましては、安定的な配当を継続実施していくことを基本としつつ、連結ベースでの配当性向や業績水準等を勘案して決定したいと考えております。この基本方針のもと、当期の中間配当金につきましては、1株当たり6円で実施いたします。

●株主の皆様へ

当社を取り巻く経済環境は、新興国経済の成長ペースの鈍化、先進国の景気減速、金融不安が懸念されるなど不透明な状況が続いております。このような経済環境ではありますが、2009年10月に策定した中期経営計画に織り込んだ「成長戦略」と「体質強化」の各施策の実行を加速させ、事業構造の強化を図ることで、新たな成長の基盤を確立し、グローバルに持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

最後になりますが、2011年7月に、当社のベアリング製品の取引に関して独占禁止法違反の疑いがあるとして、公正取引委員会による立入検査を受けました。当社はこのような立入検査を受ける事態になりましたことを厳粛に受け止め、今後の調査に全面的に協力してまいります。さらに、役員・従業員一人ひとりに対するコンプライアンスの再徹底の取り組みを進めてまいります。

株主の皆様にはご心配をおかけしたことをお詫び申し上げますとともに、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

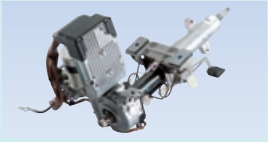
自動車事業

ハブユニット軸受をはじめとした「自動車軸受」、電動パワーステアリングなどの「自動車部品」の2つの製品分野で事業を展開し、自動車の安全性・快適性の向上に貢献しています。高まる環境志向や、新興国需要の拡大に対しても、高度な技術力とグローバルネットワークを生かして応えています。

ABSセンサー付ハブユニット軸受

複列アンギュラ玉軸受

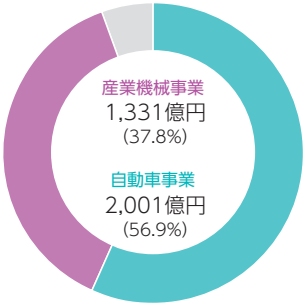
クラッチアッセンブリー


電動パワーステアリング

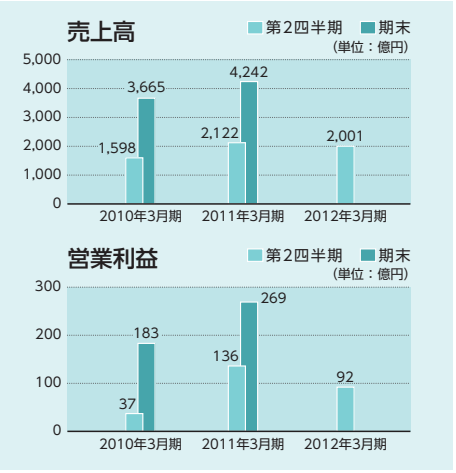
Segment Information

産業機械事業

セグメント別売上高比率

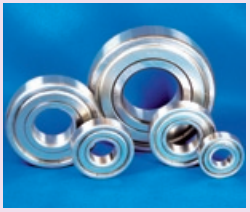


自動車事業



◎新製品情報

「高効率モータ用省エネ軸受」



近年、地球温暖化対策としてCO_2削減や省エネ化が求められ、世界各国でモータの高効率化が進んでいます。軸受設計の最適化により摩擦損失の半減を実現し、産業用モータの消費電力削減、省エネに貢献します。

農業機械向けHST用「長寿命高信頼性保持器付きスラスト玉軸受」

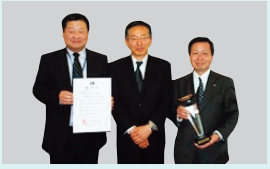
世界的な人口増加に伴い、農業機械の需要は拡大し、高出力化が進んでいます。HSTが主流となっている農業機械用変速機では、高出力化に対応するため、長寿命化技術の採用により、従来の2倍以上の寿命を可能にしました。

◎新製品情報

世界初 冷間成形ハブユニット軸受を量産化

NSKは冷間成形に関する技術開発を行い、ハブユニット軸受のハブシャフトを従来の熱間鍛造から冷間成形化することに成功し、世界で初めて市場投入を開始しました。

当新工法と軸受軽量化により、環境負荷低減に貢献することができました。



本製品はダイハツ工業株式会社より低燃費化の貢献を評価され、技術開発賞を受賞いたしました。

連結財務諸表（要旨）

Financial Statements

四半期連結貸借対照表

単位：百万円（未満切捨）

	2012年3月期 第2四半期 (2011年9月30日)	2011年3月期 (2011年3月31日)
資産の部		
流動資産	428,988	418,584
現金及び預金	51,632	71,047
受取手形及び売掛金	143,772	136,016
有価証券	68,484	51,387
棚卸資産	116,951	111,649
その他の流動資産	48,147	48,483
固定資産	364,545	370,042
有形固定資産	235,028	235,906
無形固定資産	10,659	10,509
投資その他の資産	118,857	123,626
資産合計	793,533	788,626
負債の部		
流動負債	290,987	293,881
支払手形及び買掛金	126,473	124,103
短期借入金	83,056	81,442
社債	30,000	30,300
その他の流動負債	51,457	58,035
固定負債	230,953	219,475
社債	65,000	65,000
長期借入金	113,113	97,842
その他の固定負債	52,840	56,633
負債合計	521,941	513,357
純資産の部		
株主資本	308,639	296,392
資本金	67,176	67,176
資本剰余金	78,340	78,334
利益剰余金	167,307	155,062
自己株式	△4,184	△4,180
その他の包括利益累計額	△54,595	△39,379
その他有価証券評価差額金	8,849	12,213
為替換算調整勘定	△63,444	△51,593
新株予約権	481	569
少数株主持分	17,066	17,686
純資産合計	271,592	275,269
負債及び純資産合計	793,533	788,626

四半期連結損益計算書

単位：百万円（未満切捨）

	2012年3月期 第2四半期 (2011年4月1日～2011年9月30日)	2011年3月期 第2四半期 (2010年4月1日～2010年9月30日)
売上高	351,877	352,785
売上原価	276,943	281,027
売上総利益	74,934	71,758
販売費及び一般管理費	51,998	51,464
営業利益	22,935	20,293
営業外収益	4,311	3,772
営業外費用	5,408	6,718
経常利益	21,839	17,347
税金等調整前四半期純利益	21,839	17,347
法人税等	6,902	6,115
少数株主損益調整前四半期純利益	14,936	11,232
少数株主利益	547	666
四半期純利益	14,388	10,565

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円（未満切捨）

	2012年3月期 第2四半期 (2011年4月1日～2011年9月30日)	2011年3月期 第2四半期 (2010年4月1日～2010年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,939	34,304
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,198	△15,276
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,690	△17,126
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,583	△1,868
現金及び現金同等物の増減額（減少：△）	△3,151	33
現金及び現金同等物の期首残高	120,333	123,437
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（減少：△）	△157	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	117,023	123,470

■ 中間配当について

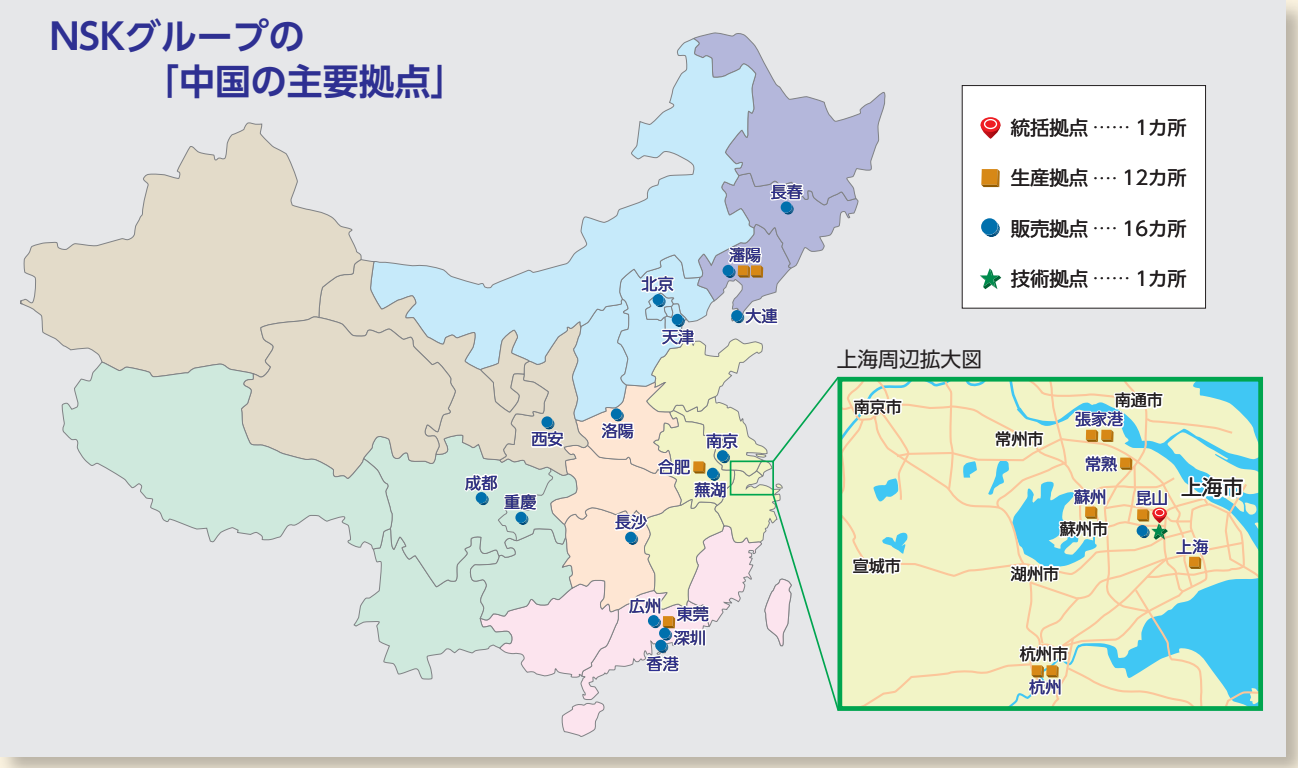
当期の中間配当金については下記のとおり決定いたしました。

1. 中間配当金　**1株につき金6円**
2. 中間配当の効力発生日並びに支払開始日　**2011年12月2日（金）**

成長するNSKグループの中国ビジネス

中国市場が世界経済で存在感を高める中、家電や自動車に加え、半導体、新エネルギーなど最先端産業まで様々な外資系企業が中国市場へ進出しています。

NSKは1995年の昆山工場設立以来、他社に先駆けて中国事業を拡大・発展させ、中期経営計画最終年度（2013年3月期）の中国での売上高は1,000億円を見通せるまでになっています。そして、NSKは中国における軸受のシェアNo.1の実績と強いブランド力を生かし、中国国内の需要だけではなくアジア各国の需要にも対応できる体制づくりなど様々な取り組みを進めています。



■中国全土をカバーする技術開発・技術サービス・販売のネットワーク

NSKは2009年にグループの海外研究開発拠点としては最大規模となる中国テクノロジーセンターを開設し、評価・実験に加え、製品の開発から設計までを現地で行ない、中国国内のお客様のニーズに迅速かつきめ細かく対応しています。また、16カ所の販売拠点を中心に販売網を整備し、中国全土のユーザーをカバーしています。

■内陸部まで広がる生産のネットワーク

自動車や家電製品向けの軸受や電動パワーステアリング（EPS）などの生産に加え、2010年12月には遼寧省瀋陽市の精機製品工場がボールねじの生産を本格的に開始しました。さらに、2012年1月には風力発電や鉄道車両など中国で需要が高い大形軸受を生産する同じく遼寧省瀋陽市の産業機械軸受工場も本格稼動します。また、2011年7月にはNSKの中国生産拠点としては初めて内陸部（安徽省合肥市）に中国12カ所目となる工場建設について、合肥市と調印しました。NSKはこの合肥工場を昆山工場に次いで中国における2つ目の玉軸受工場として生産力を強化し、拡大する中国需要の取り込みを進めてまいります。

■真のインサイダー企業をめざして

NSKは世界各地の拠点で、人材、原材料、設備、キャッシュなどを現地調達する事業運営により収益力強化を進めております。2012年8月に竣工する合肥新工場は、建設から中国の人材を主体としたマネジメント体制で取り組むなど「自己完結体制」の確立を急ぎ、中国においても真のインサイダー企業としての経営を推進してまいります。

NSKは2016年の創立100周年に向けて、各ステークホルダーの方々から売上高1兆円企業にふさわしいトータル・クオリティNo.1と認知される企業をめざしてまいります。

瀋陽恩斯克精密機器有限公司（瀋陽市）

合肥恩斯克有限公司（合肥市）〈完成予想図〉

東日本大震災関連支援活動

福島・棚倉町への救援物資の送付の様子

NSKが行ないました東日本大震災関連支援活動についてご紹介いたします。

募金と義捐金の寄付（約1億2千万円）、救援物資の送付（4トントラックで約10台分）などを弊社グループ企業全体で実施いたしました。救援物資の主な送付先は南三陸町（宮城）、及び本社所在地の品川区のご紹介で双葉町（福島）、宮古市（岩手）です。他にボランティア休暇制度を利用した社員が被災地ボランティア活動に参加いたしました。加えて、被災した当社福島工場からも地元棚倉町に「毛布」「布団」「カップ麺」「ミネラルウォーター」などの救援物資をお届けし、地元の方々だけではなく、福島原発事故で避難されてきた皆様にもお使いいただきました。

●NSKホームページの投資家情報サイトのご案内

投資家情報 ▶ http://www.jp.nsk.com/investors/

NSKホームページの「投資家情報」では、決算説明の資料、財務・業績情報、株式情報などを掲載し、開示情報の内容充実に努めております。

また、個人投資家の皆様に、より深くNSKのことをご理解いただくための専用ページも設け、更に会社・事業概要、株式の状況、中期経営計画、ベアリング入門などご関心の高いと思われる情報を掲載しております。

＜主な内容＞

- ▶ 社長メッセージ
- ▶ 業績ハイライト
- ▶ 株主総会
- ▶ 個人投資家の皆さまへ
- ▶ よくあるご質問
- ▶ セグメント情報
- ▶ 株式・格付情報
- ▶ IRイベント、IR資料集
- ▶ 電子公告
- ▶ IRに関するお問い合わせ

会社概要（2011年9月30日現在）

Corporate Profile

会　　社　　名：日本精工株式会社（NSK Ltd.）
本　　社：東京都品川区大崎一丁目6番3号
設　　立：大正5年（1916年）11月8日
資　　本　　金：671億円
従　業　員　数：6,283名（NSKグループ 27,055名）
主な事業内容：産業機械軸受、精密機器関連製品、
自動車軸受、自動車部品の製造及び販売

役員（2011年9月30日現在）

取締役	（代表執行役社長）	大塚　紀男	社外取締役		萩原　敏孝	執行役	常務	松原　正英	執行役		鈴木　茂幸
取締役	（代表執行役専務）	齋藤　量一	社外取締役		鈴木　和男	執行役	常務	荒牧　宏敏	執行役		杉本　直樹
取締役	（代表執行役専務）	小森　勉	執行役	専務	ﾉﾙﾍﾞﾙﾄ･ｼｭﾅｲﾀﾞｰ	執行役		長島　俊幸	執行役		桑城　栄
取締役	（代表執行役専務）	新保　敏英	執行役	常務	斉藤　佳男	執行役		渡利　勝	執行役		ﾊﾟｰﾅｰﾄﾞ･ﾘﾝｾｲ
取締役	（執行役専務）	建部　幸夫	執行役	常務	満江　直樹	執行役		土井　英樹	執行役		池村　幸雄
取締役	（執行役専務）	正田　義雄	執行役	常務	高川　恵介	執行役		鈴木　寛	執行役		中島　秀雄
取締役	（執行役常務）	芝本　英之	執行役	常務	長竹　和夫	執行役		波田　安継	執行役		野上　宰門
取締役		市川　達夫	執行役	常務	相島　雅一	執行役		神尾　泰宏	執行役		新井　稔
社外取締役		植野　道雄	執行役	常務	桑原　克己	執行役		後藤　伸夫	執行役		麓　正忠
社外取締役		指田　禎一	執行役	常務	内山　俊弘	執行役		井上　浩二			

株式の状況（2011年9月30日現在）

Shareholder Information

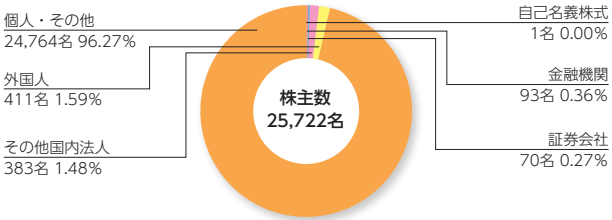
資本金：　67,176,546,655円
発行済株式総数：　551,268,104株
株主数：　25,722名

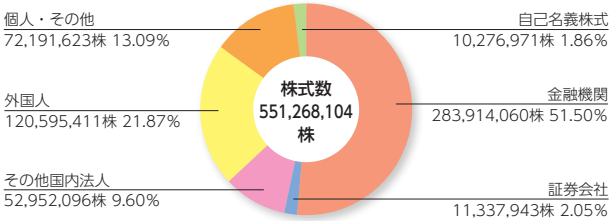
大株主

株主名	所有株式数	出資比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	44,212千株	8.02%
富国生命保険相互会社	32,000千株	5.80%
日本生命保険相互会社	30,575千株	5.54%
明治安田生命保険相互会社	26,726千株	4.84%
日本トラスティ･サービス信託銀行株式会社（信託口）	26,148千株	4.74%
株式会社みずほコーポレート銀行	19,011千株	3.44%
全国共済農業協同組合連合会	12,250千株	2.22%
日本トラスティ･サービス信託銀行株式会社（住友信託銀行再信託分･トヨタ自動車株式会社退職給付信託口）	10,709千株	1.94%
トヨタ自動車株式会社	10,000千株	1.81%
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	9,410千株	1.70%

（注）上記以外に、当社は自己株式10,276千株（出資比率1.86%）を保有しております。

所有者別分布状況





配当金の口座振込のご案内

①口座振込による配当金お受取りのお勧め

配当金領収証により、ゆうちょ銀行または郵便局で配当金をお受取りの株主様は、『口座振込』にご変更いただきますと、支払開始日にご指定の口座に振り込まれ、迅速かつ安全・確実にお受取りいただくことができます。単元未満株でも口座振込のご指定は可能です。この機会に是非とも『口座振込』にご変更くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

②ゆうちょ銀行で口座振込が可能に

（次回配当金のお支払いより）

来年6月お支払い予定の第151期期末配当金から、口座振込先に『ゆうちょ銀行』がご指定いただけるようになりました。

①、②共に下記「株主メモ」をご参照いただき、お取引の証券会社もしくはみずほ信託銀行へお問い合わせください。

株主メモ

- 事業年度　4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会　6月
- 配当の基準日　期末配当金－3月31日
中間配当金－9月30日
- 1単元の株式の数　1,000株
- 株主名簿管理人　〒103－8670　東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所　〒103－8670　東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部
- 公告掲載　電子公告により行います。http://www.jp.nsk.com/
但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載する方法により行います。

	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社に口座をお持ちでない場合（特別口座へ記録されている場合）
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168－8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先		みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ご照会専用フリーダイヤル 0120－288－324
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店 （未払配当金のお支払いのみ） 株式会社みずほ銀行　全国本支店
ご注意	下記記載	単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。

（注）株式が証券会社の口座の場合、未払配当金のお支払い及び支払明細のご発行は、上記右欄の郵便物送付先・お問い合わせ先・お取扱店へお問い合わせください。

NSK 日本精工株式会社

ホームページアドレス：
http://www.nsk.com/

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC™ C013080 www.fsc.org